

～「^ま撒いと太郎」の作り方～

岡山県井笠家畜保健衛生所



【材料】

- ・集卵ケース 1個



- ・コマ 4個
前用：径75mm可動式を2個
後用：径100mm固定式を2個
- ・六角ねじとボルトのセット
(4セット/1コマ×4コマ=16セット)
- ・綿のロープ(ケースの網目に通る太さ)
写真は8mm径で3mほどを1本



【作り方】

1. 集卵ケースの穴の大きさを確認する。
2. ケースの横の網目を、ハンダゴテで焼き切り広げる。固まりの多い石灰を使

うときは、網目が大きい方が出やすい。網目が大きい分には、ケースに新聞紙や飼料袋等を引くことで石灰の出る量の調節が出来る。また、底の網目も大きくすると、より石灰が出やすい。(今回は前の網目のみ大きくした)



3. 集卵ケースの底4カ所にコマを付ける

うしろ側に100mm径、前に75mm径をつけることで、前下がりの傾斜をつけることができ、石灰が前から出やすくなる。



4. ロープを前側に通して結ぶ。(二重にした方が持ちやすく、引っ張るときに手が痛くなりにくい)



【持ち手のひもを低くつけたバージョン】



【縦バージョン(コマはうしろのみ)】
狭い通路での散布が可能



【ひもではなく棒を取り付けたバージョン】

～おまけ～

集卵ケースが手に入らなくて洗濯かごを加工した方もいましたが、やはり重みに耐えきれず、壊れてしまったそうです。底も網目になっているタイプの収穫カゴの方が、耐久性はあると思われます。

農場の形状や使い勝手のいいように、いろいろ加工していただけたらと思います。



らくらく散布



凸凹の道でも大丈夫！